



日本赤十字社



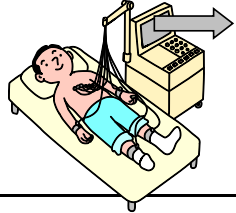

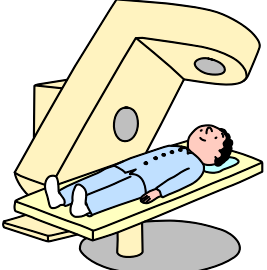
肺の切除術を受けられる()さま

)さま

主治医は、 _____ です

病棟師長は、 _____ です

担当看護師は、 _____ です

月・日・曜日	入院日 ~ 手術前日	手術日	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目 ~ 退院日まで
		/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ () ~ / ()
食事・栄養	普通食(合併症のある方は、治療食となる場合もあります) 絶飲食の時間を書いた札をお渡します。	絶飲食です。 	朝から粥食です。	朝から普通食です。		
安静度	病院内を自由に活動してください。	手術後は、ベッド上で安静です。 ベッド上で体の向きを変えることはできません。 血栓予防のため、足の運動をしましょう。	状況によって 歩く練習をしましょう。	病院内を自由に活動してください。		
清潔	入浴できます。 		体を拭きます。 	下半身のシャワーはできます。		胸のチューブが抜ければ、 シャワー浴できます。
処置	手術前日に脇と胸の毛を剃ります。 その後、入浴またはシャワーをしてください。 マニキュア・ペディキュアは落としておいて下さい。 ひげ剃りをしておきましょう。 爪は短くそろえておきましょう。 用意していただくものは、T字帯1枚です。 ICUに入られる方は、浴衣1枚・T字帯かパンツ1枚・タオル2枚・ バスタオル2枚・ティッシュペーパーを用意して下さい。 すべての物品に名前を記入して下さい。 必要時 呼吸訓練と吸入をします。	化粧はしないで下さい。 時計・指輪・義歯・ヘアピン・コンタクトを外し、トイレを済ませます。 看護師の持ってきた手術衣に着替えてください。 (パンツ以外の下着は脱いで下さい) 髪の長い方は、あらかじめ両側にゴムで束ねておいて下さい。 手術しない方の側に、ネームバンドをします。 弾性ハイソックスを着用します。 術後は、血栓予防のため下肢をマッサージする機械を装着します。 家族の方と一緒に、手術室に行きます。(手術中、家族の方は、ラウンジか病室でお待ちください)	必要時 吸入			状態により中止します。
治療・点滴・服薬	手術前日の眠る前に、 安定剤を内服します。 	午後から手術の方は、午前中に点滴があります。  手術後 点滴が翌朝まで続きます。	朝から痛み止めと 胃薬を内服します。 抗生物質の点滴があります。 8:50より廻診があります。 (主治医が訪室するので) ベッド上でお待ちください。 状況に応じて、尿管を抜きます。 ガーゼ交換があります。	 背中の中をチューブを抜きます。	術後7・8日目頃に抜糸となります。 	状況に応じて、胸の管が抜けます
検査	手術前の検査(採血、レントゲン、心電図など)があります。		採血とレントゲンがあります。	レントゲンがあります。	採血とレントゲンがあります。	必要に応じて、採血やレントゲンなどの検査があります
説明・指導	主治医から、 患者さまとご家族の方に手術の説明があります。 入院までの経過や病状をお伺いします。  麻酔科に受診し、麻酔の説明があります。 (70才以上の方は、ご家族の同伴が必要となります。 9時までにご来院ください) 手術室の看護師が訪問します。	手術が終わったらず、 ご家族の方に手術の説明があります。 痛みがある・眠れない時は 遠慮せず看護師に 申し出てください。 			普段どおりの生活をしてください。 	

* 病状に応じて、予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、担当看護師におたずねください。

2017年12月作成 広島赤十字・原爆病院 外科